

国語  
二一  
(書き)

第二学年の漢字(書き) 一

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

① きのう、  えんに  。

② お  さんとキャッチボールをした。

③ あとから、  も  。

④  さん  さん  で、かけっこもした。

⑤ ぼくが、  いたった。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

① 、あのね。

② 牧  で、 を 。

③ おいしそうに、 を  いたよ。

④ ときどき、モーと  よ。

⑤  がきれいに、 いたよ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく  
送りがなにも気をつけましよう。

①  げんき に、  あさ のあいさつをしよう。

② ろう  か は、しずかに  あるころ。

③  はなす  ひと を  みて きこう。

④  じ はていねいに  かころ。

⑤  ただしい しせいで、すわろう。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。  
かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

① ちから  
 いっぱい  
はしった。

② おおきな こえ  
  でおうえんした。

③ あかぐみ  
 も、  
しろぐみ  
も、がんばった。

④ よんでん  
 さで、  
かった。

⑤ つぎのうんどう  
 かい  
もたのしみだ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  あね  
は、わたしよりせが  たかい  
。

②  いもうと  
は、  はな  
がすきだ。

③  はは  
は、  はや  
おきだ。

④  いま  
、わたしは  きゆう  
さい。

⑤  そと  
であそぶのがすきだ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  むぎ わらぼうしに、  むし とりあみ。

②  はやし で  みつけた かぶと  むし 。

③  うみ には、  さかな がおよいでいたよ。

④  ふね をうかべて、あそんだよ。

⑤  なつやすみ は、たのしいな。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

あし  
①  をのばす。

つよい ちから  
②   でおす。

とうきよう たかい  
③  タワーは、  。

いちばん たかい  
④ スカイツリーは、   。

まち ちいさく みえる  
⑤  が、   。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
かんじ か

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  たい  
ようが、のぼる。

②  つきよ  
のばん。

③  はるかぜ  
がふく。

④  いえ  
の  なか  
にいる。

⑤  うさぎの  みみ  
は、  ながい  
。



つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  みせ  
でノートを  かう  
。

②  でんき  
をつける。

③  もん  
をあける。

④  あたらしい  
 くるま  
にのる。

⑤  かどを  
 みぎ  
にまがる。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  きいろ  
いぼうし。

②  きようしつ  
に  はいる。

③  がっこう  
の  せんせい。

④  ないろ  
の にじ。

⑤  とも  
だちとあそぶ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく  
送りがなにも気をつけましよう。

①  かお  
をあらう。

② お  ちや  
をのむ。

③  ひる  
ごはんを  たべる

④ いえに  かえる

⑤  につき  
を  かく

⑥  せんとう  
の  ひと  
が  いっぽ  
ずつ  あゆんで  
いく。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  ひと  
が  おおい  
。

②  ちよう  
れい  だい  
に  たつ  
。

③  ほそい  
 みち  
を  あるく  
。

④  むし  
のこえが  きこえる  
。

⑤  もり  
を  あるく  
。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  ほし の  なまえ をおぼえたい。

②  ひかる  ほし 。

③  あま の  がわ 。

④  おおきな  さんかくけい 。

⑤ うちゅうは、  
 ひろい 。

国語  
二十一十四  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  はんぶん  
におる。

②  ながく  はしる  
。

③  とおく  
になげる。

④  うしろ  たつ  
に 。

⑤ ピアノを  よわく  
ひく。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましよう。

おく  
送りがなにも気をつけましよう。

① かみの  をとかす。

②  をたしかめる。

③  を  。

④  を  。

⑤  を  。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  ふゆ の さむい  あさ

②  はね の  あおい  とり

③  こめ を そだてるのう  か

④  あたま で  かんがえる。

⑤  やま の  ほろ を むく。

⑥  ちゅうしよく を とりながら、マナーを  おしえて も

じゅう。



つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  のはら  
を  はしる。  
。

② お  のかねがなる。

③  げつようび  
は、  しゅう  
のはじまり。

④  にちようび  
は、 お  やすみ  
。

⑤  むら  
の  おおきな  
 き  
。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  ほん  
を  よむ  
。

②  かみ  
でにんぎょうを  つくる  
。

③ よく  かんがえる  
。

④ おみせで  ひやくえん  
はらう。

⑤ えんぴつで  せん  
を  ひく  
。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  え  
をかく。

②  きしや  
にのる。

③  ゆみ  
を  ひく。

④  や  
をいる。

⑤  うる  
ものを  。

国語  
二一二十  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  さとやま の  くさばな。

②  よう じをすませる。

③ ふくは  うち。

④ すずしい  かぜ。

⑤  たにがわ の  みず。

国語  
二一二十一  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  にあてはまる漢字をか  
きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  いけ  
のめだか。

②  からだ  
をまげる。

③  こころ  
に  でかける  
。

④  まん  
げきようをのぞく。

⑤  こくご  
の  がく  
しゅう。

国語  
二一二十二  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  みなみ  
むきの  こう  
しや。

②  つぎ  
が  にし  
にしずむ。

③  いちば  
に  いく  
。

④  かがく  
のじっけんをする。

⑤  くも  
がわき  あがる  
。

国語  
二一二十三  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  ゆき  
がふる。

②  ざこう  
の  じかん  
。

③  やさしい  
。

④  じ  
めんのしもばしら。

⑤ たぬきの  せいぞろい  
。

国語  
二一二十四  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
あ かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  づま  
にのる。

② こうえんの  ちかく  
にすんでいる。

③  つうがく  
ろをたしかめる。

④  まいにち  
べん  きまじ  
する。

⑤ はん  が  
は、  たのしい  
。



国語  
二一二十五  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

① こまを  まわす。

②  とり  が  なく。

③  どくしよ  の  あき。

④ まとに  あたる。

⑤ とかいには  かいしや  が  おおい。

国語  
二一二十六  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  せんせい の  はなし を  きく。

②  どうぶつ  えん に  いく。

③ ボールは、 まるい。

④  あまど をあける。

⑤  いく ばんをきれいにふく。

国語  
二一二十七  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  けいさん  
がはやい。

②  こご  
さ  てん  
では  とまれ

③  につちよく  
が  まえ  
に  たつ

④  こ  
どもはかぜの  こ

⑤ この  ちざ  
では、  きた  
が  うえ

国語  
二一二十八  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

① かるがもの  。

② ふくのおおきさが  。

③  の  。

④  の  都、  。

⑤  みらい。

国語  
二―二十九  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  おなじ  かんがえ  
です。」

②  すこし  かんがえ  
がにっています。」

③  り  
ゆうは、くだからです。」

④ 「わたしは、くと  おもいます  
。」

⑤ 「ぼくが、まとめを  いいます  
。」

国語  
二一三十  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
あ かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

① おおきな いわ

② ふるい かたな

③ なんねん まえ

④ たけ から

うまれた  
かぐやひめ。

⑤ ちからもちの

おとこ  
。

国語  
二一二十一  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  にあてはまる漢字をか  
きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  がつ きゆう  かつ どの  じかん

② やき  にく のお  みせ に  いく

③  けいごう あんぜん。

④  じぶん できめる。

⑤ くじを  ひく。

国語  
二一二十二  
(書き)

第二学年の漢字(書き)

なまえ

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

① しぜんがゆたかな  くに。

②  あに  
がおおきなこえで  こたえた。

③  たのしい  やすみ  じかん。

④  あたらしい  ことを  する。

⑤ かん  じ  
はかせ。